

平成 30 年 二級建築士

◆設計製図試験「課題の概要説明会」

～地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅～

〔鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）3階建て〕

- I. 課題分析
- II. 合格の決め手
- III. TAC設計製図コース 講座説明
- IV. 開講までの準備

平成 30 年 二級建築士 設計製図試験「課題の概要説明会」

I. 課題分析

設計課題名「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅」 〔鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）3階建て〕

■要求図面

- ・ 1階平面図兼配置図〔縮尺 1/100〕
- ・ 2階平面図〔縮尺 1/100〕
- ・ 3階平面図〔縮尺 1/100〕
- ・ 立面図
- ・ 断面図
- ・ **部分詳細図（断面）〔縮尺 1/20〕** NEW
- ・ 面積表
- ・ 主要構造部材表
- ・ 計画の要点等

（注）答案用紙には、1目盛が5ミリメートル（部分詳細図（断面）については10ミリメートル）の方眼が与えられている。

2級建築士設計製図試験は「木造」の出題が基本ですが、3年に1回の頻度で「RC造」が出題されています。前回RC造が出題されたのが平成27年なので、想定通り今年もRC造でした。なお、**3階建て**の要求は前回のRC課題（平成27年）に続いて、**2回連続の出題**となります。

過去の類似課題としては、以下の3課題があります。

◆平成27年「3階に住宅のある貸店舗（乳幼児用雑貨店）」

〔鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）3階建て〕

直近のRC造課題。3階建てなので作図量、作図内容等の参考になる。ただし、これに部分詳細図が追加となる。貸店舗と住宅を併設。1・2階が貸店舗、3階が住宅で、階段・E/Vを共用コアとした縦動線の計画が難解であった。

◆平成24年「多目的スペースのあるコミュニティ施設」

〔鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）2階建て〕

2階建てのRC造課題。コミュニティ施設、単独用途の建築物。西側公園とのつながりを持たせた計画とする条件で、屋外のアプローチの計画（動線計画）の参考になる。

◆平成21年「商店街に建つ陶芸作家のための工房のある店舗併用住宅」

〔鉄筋コンクリート造（ラーメン構造）3階建て〕

1階が陶芸教室、2・3階が住宅の3階建て、店舗併用住宅のRC課題。親世帯と子世帯が住む二世帯住宅なので、今年に最も近い過去課題でしょう。

※上記課題の問題文と参考答案例は、TACの講義で使用する「新体系テキスト」に掲載する予定です。

今年の課題については、「**地域住民が交流できるカフェ**」、「**併設**」、「**二世帯住宅**」といった**3つのテーマ**が、計画上の大きなポイントとなる試験です。計画上の留意点を整理してみましょう。

1 キーワード1「地域住民が交流できるカフェ」

地域住民が気軽に集い、コミュニケーションがとれる「コミュニティカフェ」というものがあります。カフェとして飲み物や軽食を食べられるだけでなく、地域社会の中での「たまり場」として、地域の人々が作った作品を展示するための「展示スペース」や作った商品を「販売するスペース」があったり、あるいは地域交流のためのイベントやワークショップを行ったりなど、そのためのスペースも大いに考えられます。つまり、**カフェ機能+地域コミュニティの核**としての機能が求められるでしょう。

2 キーワード2「併設」

これまでの試験でよく出題されてきた、店舗などの「併用住宅」ではなく、「併設」というキーワードがポイントです。「併用住宅」では、**店舗を経営する人は主に建物の住人**ですが、今回は「併設」とあるので、カフェを経営するのは、**建物の住人ではない可能性が高い**と考えられます。その場合、住宅とカフェの管理区分を考慮した、ゾーニングや動線計画が求められるのではないのでしょうか。

3 キーワード3「二世帯住宅」

二世帯住宅（親世帯、子世帯（夫婦、子供）が共に住まう住宅）で、居間・食事室・台所、浴室、洗面などを共用するのか、あるいは別に設けるのか、で計画は大きく変わります。いろいろなパターンを学習する必要があります。

続いて、今年の要求図面におけるポイントを見てみましょう。

1 「部分詳細図（断面）〔縮尺：1/20〕→10 mm方眼に記入

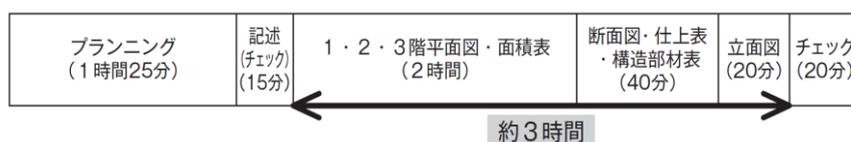
RC造課題としては、**はじめて「部分詳細図（断面）」が出題**されます！「部分詳細図（断面）」とは、「部分的な矩計図（かなばかりず）」です。矩計図とは、建物の代表的な外壁と開口部を含む箇所において、垂直に切断した断面詳細図で、納まり、寸法、仕上げ材料名などを記入します。したがって、今年の出題としては、以下の**3箇所の部分詳細図のどこかが出題される**と考えればよいでしょう。

- 基礎部分
- 2階床部分
- 屋根部分

なお、これまでのRC課題で要求されていた「仕上げ表」については要求図面からは外れましたが、部分詳細図内に仕上げ名称を記入することになるので、主な仕上げ材料名は覚える必要があります。

2 3階建て

当然ですが、2階建てよりも3階建ての建築物の方が、図面が1つ多いため、作図時間のスピードが問われます。さらに、平成27年と比較しても、図種が1つ（部分詳細図）が増えているので、**木造課題並みの作図スピード**が求められるでしょう。



Ⅱ. 合格の決め手

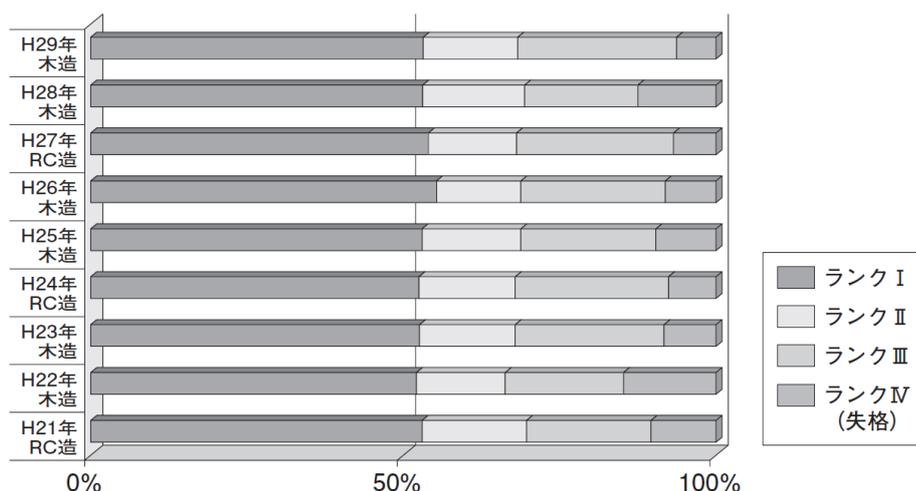
■設計製図試験＝設計（プランニング）と製図（作図の表現力）の両方が問われる試験であることを知る！

■時間内の図面完成

とにかく完成しない限り合格はない。

近年の試験は、時間内に全ての条件をパーフェクトに満たす「完璧なプラン」を作るのは難しい場合あり。問題文の条件に優先順位をつけて、ある程度の妥協点があっても時間内にプランをまとめ、作図に十分な時間を確保することが合格への近道。

作図についても、まずは「減点の少ない最低限の作図」を描き、残り時間で+αの作図を行う。



■近年の出題傾向を踏まえた受験対策を

近年はサプライズがなく、オーソドックスな出題となっています。消化しきれないほど多くの課題を解くことははっきり言って遠回りです。厳選された良問をしっかり消化すること。これが合格の秘訣です！

Ⅲ. TAC設計製図コース講座説明

TACの二級建築士設計製図コースは7課題です。

厳選された課題であれば7課題で十分合格できます。

無理なく無駄なく合格しましょう！

初回講義は無料体験入学ができます！

(※ただし、締め切りクラスは除く。)

<適正な受講料が実現できる理由>

- ・学習コンテンツの開発に資源を集中
- ・営業・管理等にかかるコストの削減
- ・数多くの資格講座運営による高い教室稼働率

IV. 開講までの準備

製図講義開講までに、以下の項目をやっておくとう利です（※製図板がなくてもできます）。

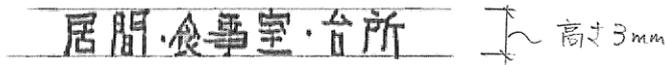
①過去問の「問題文」をじっくりと読んでおこう

問題文は「クライアントの要望」です。問題文の読み落としは試験では致命傷。学科の勉強がそうであるように、設計製図試験も過去課題を熟知することは、当然、大切である。敵を知らずに戦える訳がない。居間のうちに、問題文を隅々までじっくりと読み、試験問題とはどんなものかを知っておこう。

②文字、作図表現を練習しておく

【文字】

どれだけきれいに図面が描けても、文字が雑であると印象度は半減以下となります。文字は例え下手であっても「丁寧に、かつ高さ・大きさを揃えて書く」ということが大事。高さ3mmに細線で、水平線を描いて上下の高さを揃えて文字、数字を書く練習をしておこう。



【作図表現】

講座へお申込み後、「作図練習教材」のキットが郵送で届きます。中に入っている「作図表現練習用紙」を使って、作図表現（設備・家具・車などのスケール感、植栽の描き方、文字の練習、均一な壁厚を描く練習）をマスターしておこう。

③線の描き分け（細線、中線、太線）

試験では3種類の線の太さ（濃さ）を、描き分けることができるか否かが大きなポイントとなる。単純なことであるが、これをおろそかにしての合格はないと思ってよい。

紙に「細線」「中線（ちゅうせん）」「太線」を何度も繰り返し描いて練習しよう。

